

第23回 京都の秋 音楽祭

フィラデルフィア管弦楽団

Program

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番
ハ短調 op.18

Sergei Rachmaninov: Piano Concerto No. 2 in C minor op.18

ドヴォルザーク: 交響曲第9番
ホ短調 op.95「新世界より」

Antonín Dvořák: Symphony No. 9 in E minor op.95 "From the New World"

衝撃と感動の“フィラデルフィア・サウンド”

指揮

ヤニック・ネゼ＝セガン

Yannick Nézet-Séguin, Conductor

©Jan Regan

ピアノ

ハオチェン・チャン

Haochen Zhang, Piano

©Benjamin Ealovega

2019 **11.3** (日・祝)

15:00開演(14:00開場)

京都コンサートホール 大ホール

Sunday, 3 November 2019 14:00 open, 15:00 start at Kyoto Concert Hall Main Hall

主催: 京都市/京都コンサートホール(公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団)
協賛: 株式会社ゼロ・コーポレーション/後援: 駐大阪・神戸米国総領事館

チケットのお問い合わせ・お申込み

京都コンサートホール TEL.075-711-3231

●オンラインチケット購入 京都コンサートホール 検索

■プレイガイド ロームシアター京都 TEL.075-746-3201 (10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

チケットびあ TEL.0570-02-9999 (Pコード: 140-174)

ローソンチケット TEL.0570-000-407 (Lコード: 57385)

※都合により、出演者や内容等が変更になる場合がございます。その際、チケットの払い戻し、キャンセル等はいたしかねますので、予めご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。(託児室あり/1歳以上/定員有/有料(1,000円)/10月27日(日)までに京都コンサートホール事務所(075-711-2980)へご予約ください。

※チケットの転売は固くお断りいたします。万が一そのような行為が頻繁に見受けられた場合、転売席のチケットをお持ちのお客様にご本人様確認を行い、ご入場をお断りする場合もございますので予めご了承ください。

※会員先行期間中に売切となった場合、一般発売にお席をご用意できない可能性があります。

全席
指定

S席: 20,000円 A席: 16,000円
B席: 12,000円 C席: 8,000円 D席: 5,000円
[会員*] S席: 19,000円 A席: 15,000円
B席: 11,000円 C席: 7,000円 D席: 4,000円

※学生割引/シニア割引(70歳以上)/障がいのある方割引: 各席1,000円割引
(京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱。
窓口でご本人様が証明証等をご提示ください。オンライン購入不可。)

会員先行: 5月12日(日)10:00~ 一般発売: 5月19日(日)10:00~

*会員: 京都コンサートホール・ロームシアター京都Club会員及び京響友の会の会員が対象です。

10:00~17:00/第1・第3月曜日休 ※休日の場合はその翌平日
京都市左京区下鴨半木町1-26 地下鉄「北山駅」①③番出口南へ徒歩5分

<https://www.kyotoconcerthall.org>



supported by 100年住宅のゼロホーム

ラフマニノフとドヴォルザークの傑作をネゼ=セガンの華麗なタクトで!

「フィラデルフィア管弦楽団」はアメリカの「ビッグ5」の一角を占めるスーパー・オーケストラ。その輝かしい音色は「フィラデルフィア・サウンド」と呼ばれており、熱狂的なファンがいるほど。その音楽性を支えてきた音楽監督は、これまでわずか8名しか存在しません。ストコフスキーやオーマンディ、ムーティにサヴァリッシュといった巨匠が名前を連ねる中、8人目の音楽監督として迎えられた人物こそが、いま世界中で注目を集める若手指揮者ヤニック・ネゼ=セガンです。今回のプログラムは民族色あふれる名曲中の名曲、ラフマニノフの《ピアノ協奏曲第2番》とドヴォルザークの《交響曲第9番「新世界より」》。ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールの覇者で、驚異的なテクニックと音楽性を誇るハオチェン・チャンのピアノも必聴必見です。

© Chris Lee

フィラデルフィア管弦楽団

The Philadelphia Orchestra



© Jessica Griffin

1900年創設以来、「華麗なるフィラデルフィア・サウンド」と称される独特な響きと聴衆の心をつかみ想像力をかきたてるヴィルトゥオーシティ、伝統への敬意と革新性の両立によって名声を博してきたアメリカ屈指のオーケストラ。アメリカの楽団初のヨーロッパ・ツアーを行い、ラフマニノフ「交響的舞曲」やバーバーのヴァイオリン協奏曲の世界初演、マーラー「第8交響曲」、ストラヴィンスキー「春の祭典」のアメリカ初演なども行っている。ストコフスキーやオーマンディ、ムーティ、サヴァリッシュ、エッシェンバッハらが音楽監督としてこの名門を率い、現在はヤニック・ネゼ=セガンがその任にある。ニューヨーク・タイムズ紙は「ネゼ=セガンはスコアの隅々まで完全に意のままにし、この卓越した楽団と極めて良好な関係を築いていることを、それによって明白にした」と評している。フィラデルフィア管は彼のリーダーシップのもと、グラモフォンと契約して数多くの録音をしているが、2018年の記念イヤーにリリースしたバーンスタイン「ミサ曲」は非常に注目された。

ヤニック・ネゼ=セガン (指揮)

Yannick Nézet-Séguin, Conductor

2012年からフィラデルフィア管弦楽団の音楽監督と、18年からメトロポリタン歌劇場 (MET) の音楽監督を兼任する、現代を代表する指揮者。ニューヨーク・タイムズ紙は「豊饒な音色と燃えるような弦楽器で名高いフィラデルフィア管が、いまだかつてない優れたサウンドを聴かせる」と書いた。モントリオール生まれ。ケベック音楽院で音楽を学び、ジュリーニのもとで更なる研鑽を積んだ。ロッテルダム・フィルの音楽監督などを務め、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、バイエルン放送響、ボストン響などに客演。オペラもMETやスカラ座、ザルツブルク音楽祭で様々な作品を上演。録音も数多く、フィラデルフィア管のほか、ヨーロッパ室内管とはメンデルスゾーンやシューマンの交響曲全集のCDをリリース。



© Chris Lee



ハオチェン・チャン (ピアノ)

Haochen Zhang, Piano

1990年上海生まれ。2009年、第13回ヴァン・クライバーン国際コンクールで史上最年少優勝。以来、その深く繊細な音楽性と大胆な想像力、そして目を見張るほどのテクニックで世界各地の聴衆を魅了している。これまでに、ロリン・マゼール、マイケル・ティルソン=トーマス、ヴァレリー・ゲルギエフらの指揮のもと、ミュンヘンフィル、フィラデルフィア管、ロサンゼルスフィル、サンフランシスコ交響楽団、ロンドン交響楽団、マリンスキー劇場管等と共演しているほか、BBCプロムス、ヴェルビエ音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、サンタ・フェ音楽祭などにも招かれている。

京都コンサートホール
KYOTO CONCERT HALL

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26 (地下鉄烏丸線「北山」駅下車①③番出口南へ徒歩約5分)

🎵 公式HP <https://www.kyotoconcerthall.org>
 📘 Facebook 京都コンサートホール Kyoto Concert Hall
 🐦 Twitter 京都コンサートホール @KCH_Kyoto
 📝 公式ブログ <https://www.kyotoconcerthall.org/blog>



こころまち つくろう
KEIHAN
ゼロ・コーポレーション

ゼロホームは、
京都の音楽振興事業を応援しています。

100年住宅の ゼロホームは京阪グループの一員です

ゼロホーム

0120
FreeDial

0120-021-046

京都南インター
住宅展示場

<https://zerohome.jp/>

ゼロホーム

検索